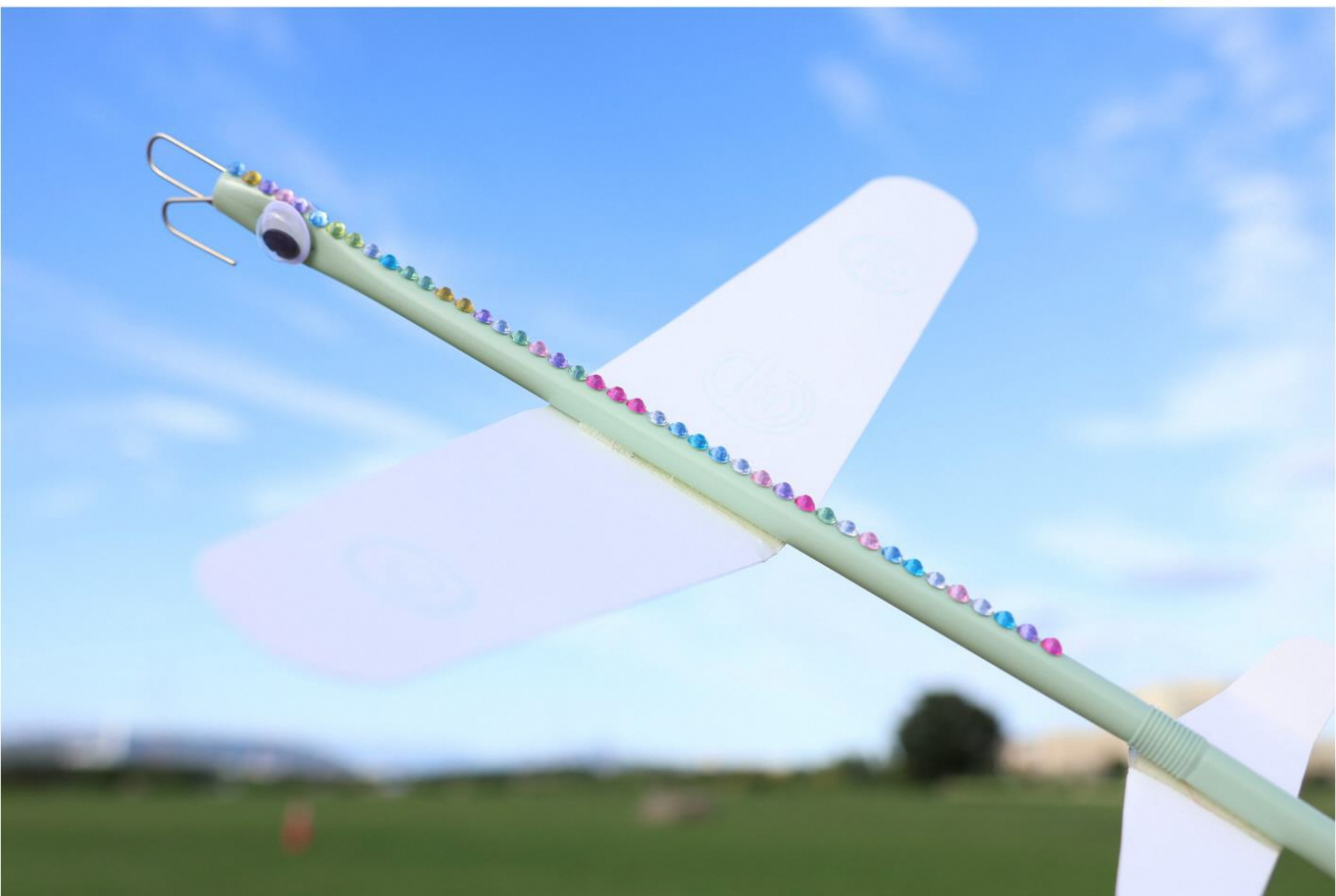


With the Arrival of Autumn 秋の訪れ

山田池公園 紫陽花散策 & 花火
2年越し… 傘立て作成報告
実習生コラム 飛び立ちたい話

2022年 秋号
ひらぽう
第42報

FREE



特集：夏開催したイベント集！

紫陽花散策 & 花火

山田池公園の紫陽花と、
夏の花火を
綺麗な写真でお届け！

傘立て作成報告

完成まで実に2年…
刮目せよ！
この圧倒的クオリティ！

実習生コラム

半年間の実習のはてに
いかにして実習生は
飛行機をとばしたのか…



山田池公園紫陽花散策



今回は6月24日に山田池公園の紫陽花を見に行きました。今年の梅雨は雨が少なく期間も短かったこともあり、当日の天気は晴れ、気温も34度まで上がり猛暑日の中での紫陽花散策となりました。

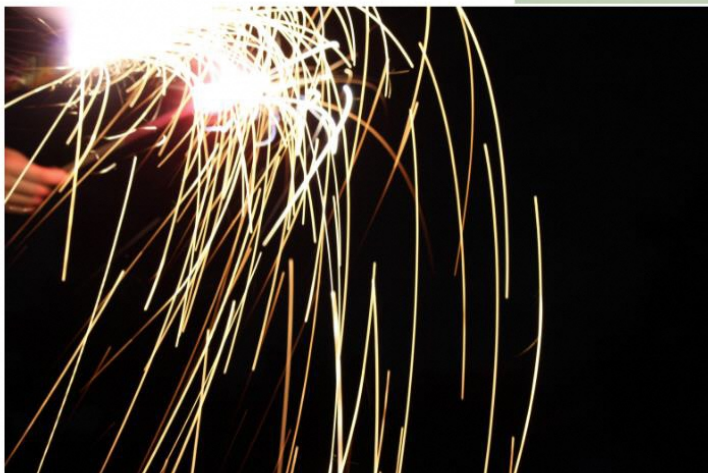
また、撮影するものとしては真夏の気候の中で6月のイメージがある紫陽花を撮影するのは、難しいと感じました。

具体的には花に当たる太陽光が強すぎて白っぽくなったり、影が出すぎたりして思い通りにはいかなかったです。とはいえ、太陽が雲に入った間や木々の影での撮影で何とか理想に近い撮影ができて良かったです。

活動報告（番外編）

8月に花火をしました

7月上旬に意見が出た花火企画、今回は企画・実行を利用者のみでひらば外の企画で行うことになり、企画の具体化や準備を最後までやり遂げることができるか不安もありましたが、お互いに意見を出し合い、楽しく良いものにできたと思います。

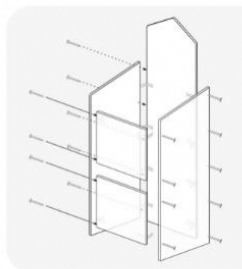


傘立て 作製 参加者2人の感想

すべて ショッピング 画像 検索結果風 ひらぽの 活動 紹介 記事

H <https://www.hirazon.hibaihin.co.jp> > 傘立て

Hirazon | 自作 傘立て



【感想文①】今年の梅雨前に無事完成した傘立てを最初に作ると聞いてから完成するまでの約2年間、紆余曲折ありました。デザインから材料の選択、組み立て、色塗りまで、すんなり皆の意見が合うこともあれば、それぞれの性格やこだわりにより誰かが譲歩した所もたくさんあったと思います。

僕自身今まで物を作る時は自分の考えを100%通すために一人きりで作ることがほとんどでした。つまりこういった他者との擦り合わせやコミュニケーション、時にはちょっとした衝突といったメンドクサイことを避けてきたのです。そしてようやく完成した傘立ては決して僕一人では思いつきもしないであろう大作でした。

一人で自分の欲しい物を作った時程の達成感は無かったのですが、そこには完成するまでの楽しかったことやメンドクサイことなど全ての物語りが織り込まれた傘立てが出来上がっていました。もちろん制作に関わっていない人達から見ればただの手作りの傘立てなのですが、僕にとっては思い出の詰まった特別な作品です。この傘立てを使う機会がある人は是非遠慮せずボロボロになるまで使い倒して頂けると嬉しい限りです。

【ペンネーム：K】

<https://hirapo.sekininwo-toritakunaino.com>

【ひらぽ】今まで傘立てが無かったので作ってみた【公式】

【感想文②】途中から傘立ての作製に参加しました。おそらく2021年の8月くらいからです。僕が参加した時には長方形の板4枚を組み合わせるためにどのようにビスやL字金具で固定するか、板の形をどうするかなどが話し合われていました。板の形は割と早く決まったと思います。箱という形は決まっていたので、傘立ての前側の板の話し合いに少し時間がかかったくらいです。決まったらノコギリで板を切り、次の回ではベースの色を塗りました。

傘立てに描く絵のデザインで時間がかかりました。ステンシルで絵を付けるという話だったので、複雑な絵は切り抜けないし、そもそも絵は描けない。個人的に、アイデアを出したらそのステンシルを作らないといけないと思ったので、面倒で意見を出すのを躊躇してました。一応、単純に傘の絵を描いたらとか、箱型の傘立てなので水槽みたいに水が溜まる風にな下半分の青みを濃くしたらとかのアイデアはありましたが、1,2回休んでる間にデザインは決まりました。安堵と同時に押しつけたようで若干の後ろめたさ。

ステンシルができれば何回かニス塗り、インパクトドライバーでビス打ちとL字金具での補強をしてついに完成しました。6月に間に合ってたよかったです。もしかししたら初見で傘立てと気づかないかも知れませんが、となとなの入り口で謎のデカイ箱を見かけたら、それはゴミ箱ではなく傘立てです。是非使ってください。【ペンネーム：E】



飛び立ちたい話

WANTED



Eat or Not

食べられなかったパフェ

Cal 3,000k

はじめまして！5月から実習生としてひらぼに参加している、おしえ亭おじいさんです。よろしくお願いします。これを記している現在、晩夏も過ぎ、つい少し前まで雛鳥だった渡鳥たちが次々巣立っていく様子が見られます。鳥が空を自由に漂うさまを見ると、「飛ぶ」ということに憧れを抱かされたことはないでしょうか。私はあります。

人にとって「跳ぶ」とは異なり、「飛ぶ」ということは、身体感覚としては捉えられない、非現実的なものだと思います。人に関わることで飛ぶものといえましょうか。たとえば「首が飛ぶ」であったり、「記憶が飛ぶ」だったり、それから「意識が飛ぶ」などが思い浮かびます。これらはどれも、外部からの思いがけない強烈な衝撃を受けることを示しています。人が自らの意思で飛ぶことは難しいようです。

しかしながら、人はたくさんものを「飛ばす」ことはできます。鼻糞や野次などといったくだらないものも飛ばせますが、特筆すべきは「心」です。心は祖国に飛んでいる…なんて言いますように、これはどんなところへも瞬時に飛ばすことができます。それだけにとどまらず、遠い昔や、これから待ち受ける未来といったふうに、心は時間すら超越して自由に漂うことができます。みなさんはどこに心を飛ばすことを連想したでしょうか。…吹けば飛ぶような小話はこれまでにしておきます。

さて、ひらぼでは最近、Healthy & Beautyを掲げてヨガに取り組んでいます。おしゃれでしょう！ヨガでは意識を内側に、「いまここ」に向けることが大事だと言われているようです。さきほどの心を飛ばすということとはまさに対照的ですね。使い古された表現では「no where（どこにもいられない）」から「now here（いまここにいる）」へ、なんてことも言いますが、このときにうごめく“w”はまさに曲者です。「withdrawal（引きこもり）」か、「work（仕事）」のことか、それとももっと根源的な「weakness（弱さ）」のことなのか…。それらを受け入れて、そのうえでいったん捨て置き、いまここにいるありのままの自分を感じられると、それはもしかしたら飛ぶより素敵かもしれませんね。

この冊子は…

「枚方市ひきこもり等子ども若者相談支援センター」の発行する“読み物”です。主に居場所支援事業「ひらぼ」の活動内容の紹介や、参加者の自由な表現の場として作成しています。紙面の作成はひらぼ利用者が行っており、編集、記事執筆、紙面デザインを担当してもらっています。ひらぼの活動や、利用者さんの普段の生活など、興味深い情報が満載です。お楽しみください。



となとなHP

発行元・お問い合わせ先

枚方市 子どもの育ち見守り室（となとな）
ひきこもり等子ども若者相談支援センター

電話：050-7102-3228 / 相談専用電話：072-843-2255 / FAX：072-846-7952

当センターでは、相談・居場所「ひらぼ」・家族の会を行っています。

枚方市 ひこぼしくん